

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	経皮的肺生検における穿刺経路の検討 [倫理審査受付番号：第 4259 号]
研究責任者氏名	放射線科 助教 児玉 大志
研究機関長名	兵庫医科大学長 野口 光一
研究期間	2022 年 12 月 19 日 ~ 2024 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名： 悪性肺腫瘍 / 診療科名等： 放射線科
	受診日：西暦 2016 年 8 月 1 日 ~ 2021 年 7 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 カルテ情報 アンケート その他（CT 画像）
	取得の方法： 診療の過程で取得 その他（ ）
研究目的・意義	肺腫瘍の診断に CT ガイド下経皮的針生検が施行されますが、胸膜に接する腫瘍の場合、直接針を穿刺した方が良いのか、あるいは正常肺実質を介して穿刺した方が良いのかは分かっていません。本研究では、後方視的にいずれの方法が適切であるかを検討します。本研究で得られた研究結果から、患者さんはより安全性、有効性の高い手法を選択できるようになります。
研究の方法	本学において、CT ガイド下経皮的針生検が施行された患者さんのうち、腫瘍が胸膜に接しており、悪性と診断されたもの、検査時に胸膜播種が存在しない患者さんを対象とします。各患者さんの臨床情報（年齢・性別）、画像所見、および検査画像の計測・統計分析を行って、CT ガイド下経皮的肺生検において直接穿刺と経肺穿刺のいずれが有効であるかを検討します。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：放射線科 担当者氏名：児玉 大志

[電話] (平日 9 ~ 17 時) 0798 - 45 - 6362

[メール] hi-kodama@hyo-med.ac.jp